

# 6 自然災害からくらしを守る

## 1 袋井市内のさまざまな自然災害

### (1) 東南海地震 1944年（昭和19年）12月



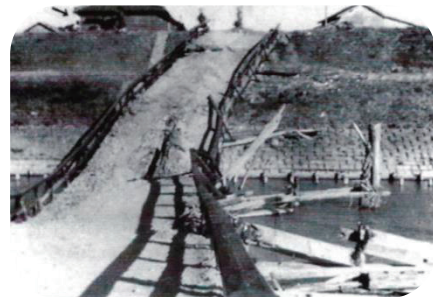
山名地区



袋井西地区



東海道本線袋井・磐田間



袋井南地区  
（「袋井市防災史」より）

### (2) 七夕豪雨 1974年（昭和49年）7月



三川地区

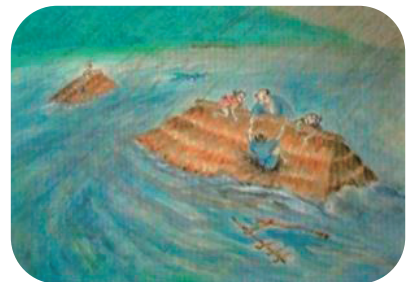
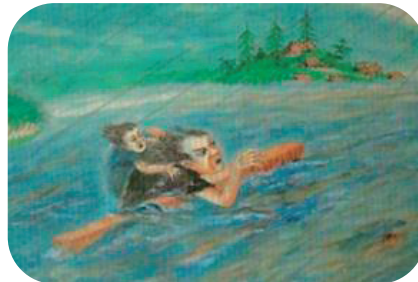
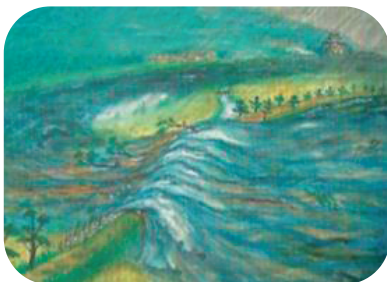


袋井西地区



山名地区  
（「袋井市防災史」より）

### (3) 延宝の高潮 1680年（延宝8年）



浅羽地区（当時）の様子をえがいた紙芝居  
（郷土資料館資料より）

## 2 自然災害の記録

### (1) 地震の記録

① 日本で起きた大きな地震と袋井市の主な被害の様子

起きた年	地震の名前	主な被害
1498（明応7）年	明応の地震	大きな地われ。5 m 津波。
1605（慶長10）年	慶長の地震	市内の被害記録は見当たらない。
1707（宝永4）年	宝永の地震	35人死亡。3 m の津波。
1854（嘉永7）年	安政東海地震	103人死亡。多くの火事も発生。
1944（昭和19）年	東南海地震	143人死亡。1～2 m の津波。 地われや液状化が起きた。
2009（平成21）年	駿河湾を震源とする地震	震度5強の大きなゆれをともな った。

② 地震の体験を伝えるもの

（東南海地震）



袋井北小学校にある

「追憶の碑」

「地震。早く外へ出なさい。」  
とつげんの先生の大声におどろきました。立ち上がって歩こうと思いましたが、しりもちをついて動けません。

（中略）

もつれながらも命からがらはって外に出ました。数秒が生と死をわけたのです。

地震を体験した

市川さんの本

「東南海地震

八歳の記憶」より

## (2) <sup>たなばたごうう</sup>七夕豪雨の記録 (1974)

<sup>いま いちくさぎさか</sup>今井地区 <sup>きらく</sup>匂坂さんの記録

朝から断続的に強い雨が降り続け、太田川の水位もじょうしょうしつうし続けていました。その夜の未明、<sup>みめい</sup>だく水は太田川の堤防を乗り越え、<sup>けっかい</sup>決壊という大災害を<sup>さいがい</sup>起こし、<sup>よこいちく</sup>横井地区をどろの海でおおいつくしてしまいました。私たち家族5人も、着の身着のままで、<sup>のうきょう</sup>農協の今井支所に避難しました。家は流出してしまい、何も<sup>のこ</sup>残らず、言葉には言いつくせない大きなショックを受けました。しかし、<sup>さいがいふっきゅう</sup>災害復旧のために間をおかず、その日から、食事の差し入れから片付けにいたるまで、心温まる多くの方の<sup>ひざい</sup>応えんをいただき、被災からようやく立ち上がることができました。



(「袋井市防災史」より)

## (3) <sup>いのちやま</sup>命山のはじまり

<sup>えんぼう</sup>延宝8年(1680)に江戸時代最大といわれる台風がおそい、全国各地で大きな被害が生じました。袋井市周辺の被害を記した古文書『百姓伝記』には、「午前5時ごろより風がふき出し、午前10時ころには高潮がおしよせ、多くの人馬が死亡、なかでも東同笠村・西同笠村・大野新田・中新田・今沢新田に潮が強く当たり、この村では老若男女300人が死亡した」とあります。このような状況の中、<sup>よこすかはん</sup>生きのびた村人たちは、横須賀藩の技術指導を受けて、<sup>ひなんじょ</sup>避難所の小山をきずきました。そののち高潮が発生したときは、この小山に避難し、命を助けてくれる山ということで、「命塚」「助け山」「命山」と呼ばれるようになりました。

(「袋井の命山」をもとに作成)



大野地区の命山



中新田地区の命山

### 3 し ぜん さい が い 自然災害からくらしを守る

#### (1) じ し ん 地震にそなえて

##### ① ひ な ん く ん れ ん さ ん か 避難訓練への参加



##### ② て ん と う ぼ う し 転倒防止の工夫

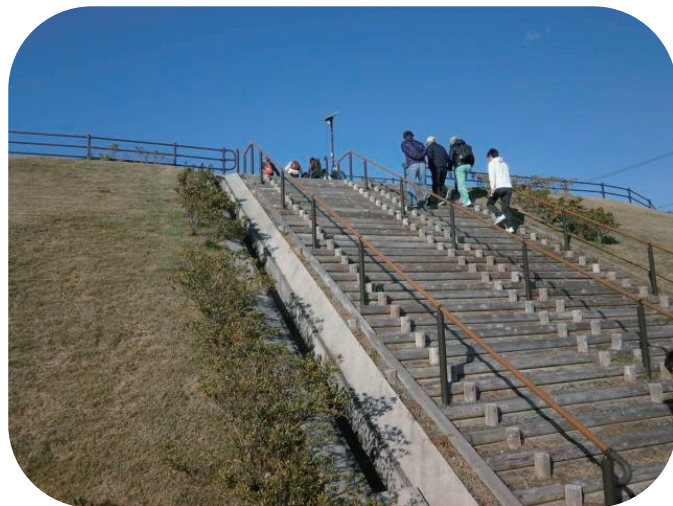


#### (2) ち い き 地域の取り組み

##### ① そ う ご う ぼ う き い く ん れ ん 総合防災訓練



##### ② つ な み ひ な ん く ん れ ん 津波避難訓練



### (3) 市内の防災設備 ぼうさいせつび

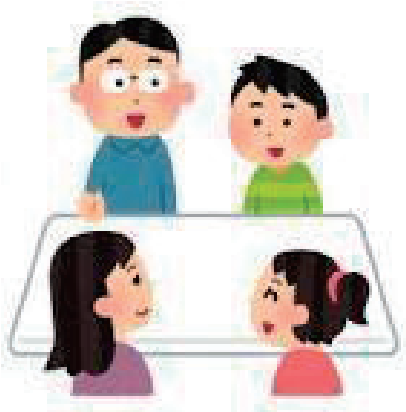
① ひじょうきゅう 非常給水タンク



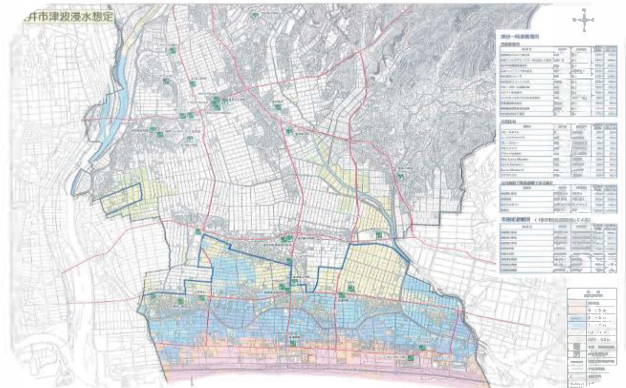
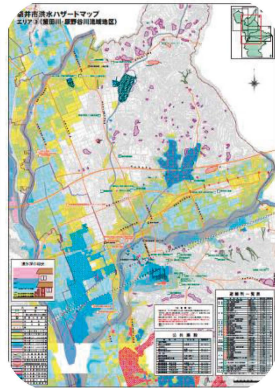
② ひなんじょ 避難所の案内板 あんないばん



地震にそなえて、  
家族でできることを考えよう。




しずおかけん ふくろいし すいがい つなみたいさく  
 (4) 静岡県や袋井市による水害・津波対策



こうずい 洪水ハザードマップの作成

つなみ 津波ハザードマップの作成



いのちやま せつち  
 平成の命山の設置



つなみ ひなん せつち  
 津波避難タワーの設置



ほうちやうてい せつち  
 防潮堤の設置



ほうちやうてい しよくりん  
 防潮堤への植林

# (5) 地震が起きたときの対応と連携

地震発生



災害対策本部  
(袋井消防庁舎・  
袋井市防災センター)



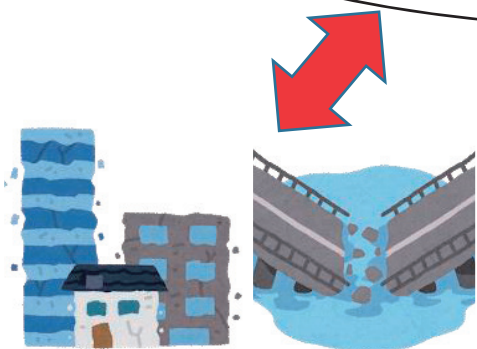
警察署



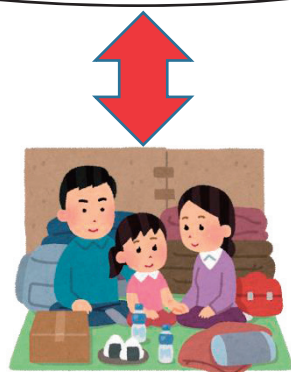
消防署 (分署)



市役所



被災状況の把握



避難所の運営



災害の救助

## (6) 小学校で行っている防災の取り組み



地震が起きたときの避難訓練 ひなんくんれん



防災備品のチェック ぼうさいびひん



災害ボランティアの話を聞く



HUG (避難所運営ゲーム) ひなんじょうえい



空き缶を使ってご飯をたく かん



危険箇所を地図にまとめる きけんかしよ



津波からの避難訓練 つなみ



子ども防災ハンドブック ぼうさい